

File 347:JAPIO Oct/1976-2001/Nov(Updated 020305)

(c) 2002 JPO & JAPIO

\*File 347: JAPIO data problems with year 2000 records are now fixed.  
Alerts have been run. See HELP NEWS 347 for details.

3/5/1

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2002 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

04080215 \*\*Image available\*\*

OPTICAL DISTANCE DETECTING APPARATUS

PUB. NO.: 05-071915 [ JP 5071915 A]

PUBLISHED: March 23, 1993 (19930323)

INVENTOR(s): GOTO MOTOOMI

APPLICANT(s): YAMAHA CORP [000407] (A Japanese Company or Corporation), JP  
(Japan)

APPL. NO.: 03-106106 [JP 91106106]

FILED: May 10, 1991 (19910510)

INTL CLASS: [5] G01B-011/00; G01C-003/06

JAPIO CLASS: 46.1 (INSTRUMENTATION -- Measurement)

JAPIO KEYWORD:R116 (ELECTRONIC MATERIALS -- Light Emitting Diodes, LED)

JOURNAL: Section: P, Section No. 1578, Vol. 17, No. 396, Pg. 131, July  
23, 1993 (19930723)

#### ABSTRACT

PURPOSE: To suppress the fluctuation of characteristics of optical distance detecting apparatuses in small resulting from the fluctuation of characteristics among photointerrupters.

CONSTITUTION: In this optical distance detecting apparatus, the light emitted from an LED2 and reflected by a to-be-detected body is received by a phototransistor 1, and the distance to the to-be-detected body is detected from the detecting current running in the phototransistor. A negative feedback circuit is added to the apparatus to negatively feed back the voltage corresponding to the detecting current to the LED.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-71915

(43)公開日 平成5年(1993)9月28日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 1/00	3 7 0 B	7927-5B		
1/26				
3/06	3 0 4 Z	7165-5B		
		7165-5B		
			G 0 6 F 1/ 00	3 3 4 B

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 実願平3-113369

(22)出願日 平成3年(1991)12月27日

(71)出願人 000146663

株式会社新興製作所

岩手県花巻市城内4番3号

(72)考案者 富沢 惣一

岩手県花巻市城内4番3号 株式会社新興

製作所内

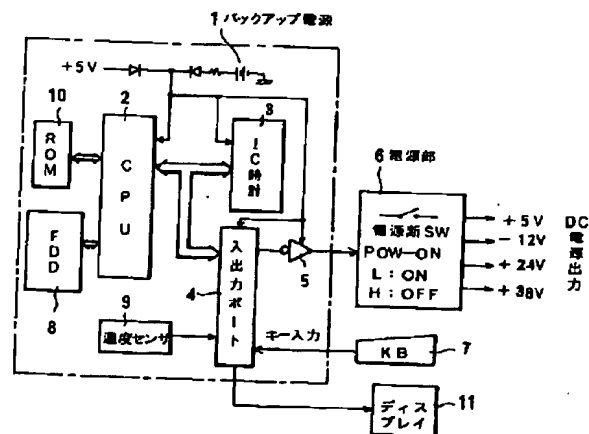
(74)代理人 弁理士 石井 光正

(54)【考案の名称】 コンピュータの自動立上げ装置

(57)【要約】

【目的】 FDDプリヒータを用いず、低コストで安全確実にIPL動作がされて、定刻には正常にコンピュータの運用開始ができるようにした、コンピュータの自動立ち上げ装置を提供する。

【構成】 予め設定された時刻において電源を投入する自動電源制御回路と、機内に設けた温度センサと、各段階の温度においてスタンバイ中の発熱によりFDDの動作可能温度まで上昇するまでの所要時間を記憶させたスタンバイ時間テーブルと、前記温度センサから電源投入時の機内温度を読み取り、前記スタンバイ時間テーブルから前記電源投入時の機内温度に対応する所要時間をタイマに設定し、タイムアップ時にFDDにアクセスをかけるCPUと、前記自動電源制御回路及び前記CPUに接続されたバックアップ電源とから構成した。



BEST AVAILABLE COPY

## 【実用新案登録請求の範囲】

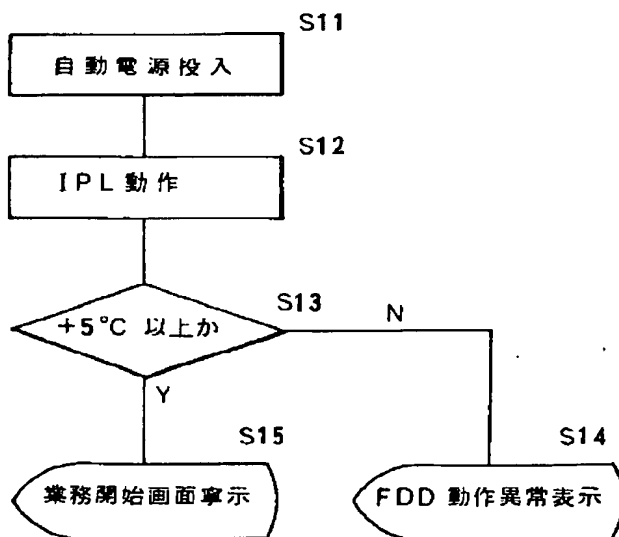
【請求項 1】 予め設定された時刻において電源を投入する自動電源制御回路と、機内に設けた温度センサと、各段階の温度においてスタンバイ中の発熱により所定の動作可能温度に上昇するまでの所要時間を記憶させたスタンバイ時間テーブルと、前記温度センサから電源投入時の機内温度を読み取り、前記スタンバイ時間テーブルから前記電源投入時の機内温度に対応する所要時間をタイマに設定し、タイムアップ時にフロッピーディスク装置にアクセスをかけるCPUと、前記自動電源制御回路及び前記CPUに接続されたバックアップ電源とからなるコンピュータの自動立ち上げ装置。

## 【図面の簡単な説明】

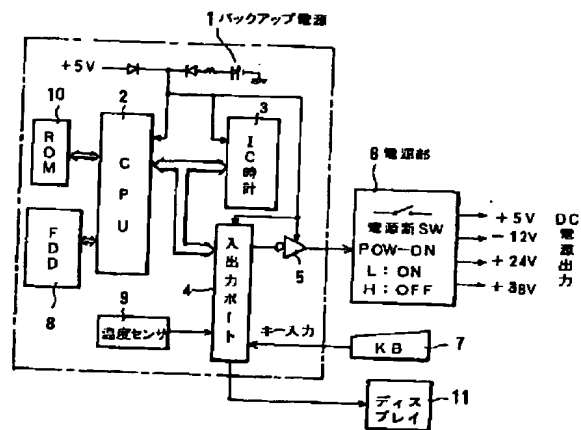
【図1】従来のコンピュータの立ち上げ手順を説明するフローチャートである。

【図2】本考案実施例装置の構成を示すブロック図である。

【図1】



【図2】



るる

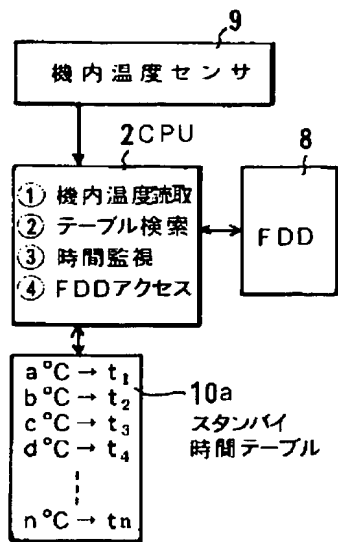
【図3】機能の要部を説明するブロック図である。

【図4】本考案実施例の立ち上げ手順を説明するフローチャートである。

## 【符号の説明】

- 1 バックアップ電源
- 2 CPU
- 3 時計
- 4 入出力ポート
- 5 ゲート
- 6 電源部
- 8 FDD
- 9 温度センサ
- 10 a スタンバイ時間テーブル
- 11 ディスプレイ

【図3】



【図4】

